

THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第6期(決算日2023年1月31日)

作成対象期間(2022年2月1日～2023年1月31日)

第6期末(2023年1月31日)	
基準価額	14,365円
純資産総額	377百万円
第6期	
騰落率	13.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
- 右記弊社ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「THEO リアルアセット・ファンド(世界の実物資産中心)」は、このたび第6期の決算を行いました。当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を通じ、世界の上場投資信託(ETF)に投資することで、世界的に世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

お金のデザイン

東京都千代田区紀尾井町1番3号

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

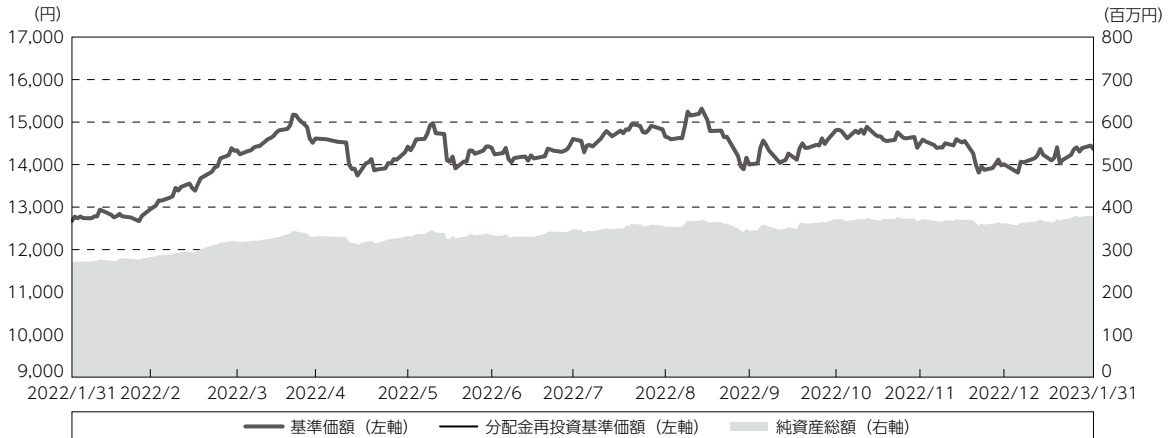
(受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年2月1日～2023年1月31日)



期首：12,677円

期末：14,365円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：13.3%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+13.3%となりました。

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替市場は、日米の金利差が拡大したことや日米の中央銀行の政策スタンスの違いなどを反映して米ドル高円安となりました。このことが基準価額にプラスに寄与し、当期は貴金属、エネルギー関連、不動産関連、物価連動債のすべてがプラス寄与となりました。貴金属価格は、2022年2月から3月にかけてロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク回避的な資金が流入して上昇しました。その後は軟調に推移しましたが11月ごろから利上げペース減速期待などを受けて再び上昇しました。原油価格はウクライナでの戦争開始から6月ごろまで上昇し、その後は期末にかけて軟調な推移となりましたが、エネルギー関連株式は不安定な値動きながら好業績を好感して通期では上昇しました。インフラ関連株式も、エネルギーや輸送施設関連などを中心に上昇しました。一方で、欧米の金利上昇などを受けて、不動産関連株式、米国物価連動国債は米ドルベースでは下落しました。

1万口当たりの費用明細

（2022年2月1日～2023年1月31日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	62 (51) (8) (4)	0.440 (0.357) (0.055) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.015 (0.015)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他)	16 (4) (12)	0.112 (0.030) (0.082)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	80	0.567	
期中の平均基準価額は、14,164円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

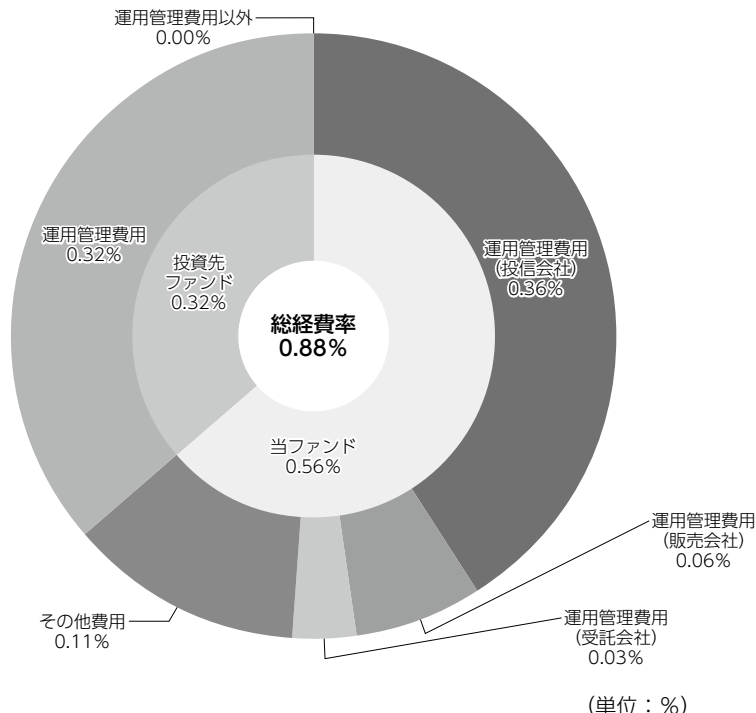
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.88%です。



総経費率(①+②+③)	0.88
①当ファンドの費用の比率	0.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年1月31日～2023年1月31日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年1月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年1月31日 決算日	2019年1月31日 決算日	2020年1月31日 決算日	2021年2月1日 決算日	2022年1月31日 決算日	2023年1月31日 決算日
基準価額 (円)	9,810	9,790	10,775	10,365	12,677	14,365
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.2	10.1	△ 3.8	22.3	13.3
純資産総額 (百万円)	14	44	101	165	270	377

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

投資環境

（2022年2月1日～2023年1月31日）

当期の世界株式市場および現物資産市場は、インフレ動向に注目が集まるなかで欧米各国中央銀行の金融政策に強く反応する展開となりました。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻したことによりエネルギー価格が上昇しました。その後も、戦争の長期化とロシアへの経済制裁に伴うエネルギーや食糧などの供給網に与える影響が懸念材料となったことに加えて、中国におけるゼロコロナ政策やコロナ感染者の推移なども注目材料となりましたが、今期の後半は欧州での天然ガス備蓄が進んだことや世界景気への不透明感などを背景に原油及び天然ガスの価格は下落傾向となりました。

貴金属価格は、ウクライナ戦争開始後にリスク回避的な資金の流入により上昇しましたが、その後は主に米国の金利見通しにほぼ連動する形となりました。金価格と銀価格でややまちまちな動きとなる場面もありましたが、いずれも米国10年国債利回りが4%を超えた10月中旬ごろまで下落したあと、金融引き締め減速見通しに伴って上昇しました。

不動産関連株式は、ウクライナ戦争開始後に世界景気の先行き懸念などから下落し、その後は欧米の長期金利上昇を受けてさらに下落しました。期末にかけては金融引き締め減速見通しなどから上昇しましたが、期初の水準には届きませんでした。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

（2022年2月1日～2023年1月31日）

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2022年2月1日～ 2023年1月31日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,365

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

お知らせ

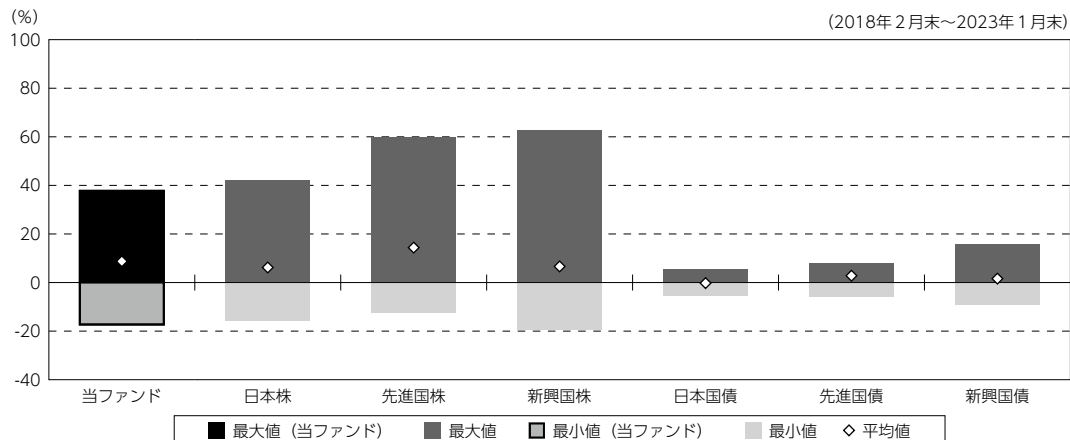
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）	
運用方針	<p>「THEO リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」の運用方針です。</p> <p>①主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。</p> <p>②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
運用方法	主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。	
分配方針	毎年1月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	37.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 17.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	8.7	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2018年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年1月31日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

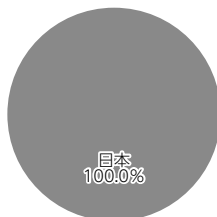
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

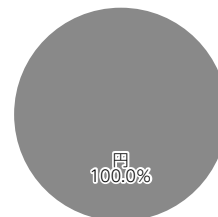
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第6期末
	2023年1月31日
純資産総額	377,035,644円
受益権総口数	262,463,814口
1万口当たり基準価額	14,365円

(注) 期中における追加設定元本額は64,107,141円、同解約元本額は14,643,849円です。

組入上位ファンドの概要

THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）

【基準価額の推移】

(2022年2月1日～2023年1月31日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	期 間	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.015 (0.015)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合 計	2	0.016

期中の平均基準価額は、14,582円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

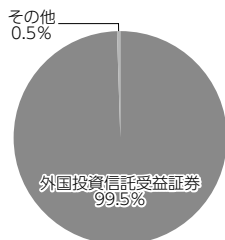
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比率
1	ISHARES US REAL ESTATE ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	30.2%
2	ISHARES GOLD TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	21.2
3	ISHARES TIPS BOND ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	18.9
4	ISHARES SILVER TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	8.0
5	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	7.9
6	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	6.1
7	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	4.5
8	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	2.5
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数			8銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

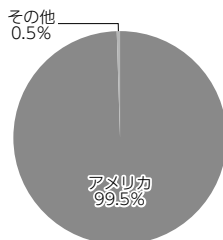
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

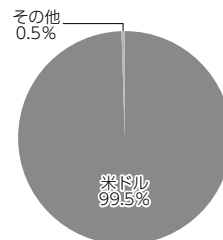
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月31日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。